

平成31年度 名古屋大学大学院工学研究科 博士課程外国人留学生募集要項

I 博士前期課程（修士課程）

1 出願資格

日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）であって、「留学」の在留資格を有し、かつ次のいずれかに該当する者。

ただし、入学手続時までに「留学」の在留資格を取得できる予定の者については、出願時にその資格を有しなくても出願できる。

- (1) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (2) 日本の大学を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- (3) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (4) その他本研究科において日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※出願する前に必ず志望指導教員に連絡を取り、内諾を得ておくこと。

【出願資格認定のための事前審査】

受験志願者は、原則として全員出願資格認定のための事前審査を受けること。

ただし、以下①及び②の者は事前審査が免除される。なお、①及び②の者であっても、出願資格(3)または(4)により出願する出願者は、事前審査を受ける必要がある。

①本学部（本研究科）に在学する者、又は本学部（本研究科）で研究生として在籍する者。

②平成30年10月から本学部（本研究科）の研究生として入学予定の者。

上記以外の者については、資格審査を行うので出願前に次のとおり必要書類を工学研究科教務課へ7月17日(火)必着で提出すること。事前審査の結果は、8月8日(水)に本人宛に通知する。

ただし、留学ビザを既に取得している者については、必要書類の提出を9月13日(木)までとし、事前審査の結果は10月3日(水)に本人宛に郵送にて通知する。

必要書類

1. 入学志願票（本冊子とじ込みの用紙）
2. 大学又は大学院の成績証明書（原本）
3. 志望理由書（入学して何をしたいのかを明記すること。なお、志望指導教員には事前に連絡をとっておくこと。）
4. 推薦書（出身大学の学長、学部長又はこれにかわる者が作成したもの。ただし、在職中の者は、所属長が作成したもの。いずれも様式随意。）
5. 日本語能力を証明するもの（日本語の担当教員もしくはこれに準ずる者の証明書）
ただし、日本の大学を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者についてはこれを免ずる。
6. 経費能力を確認できる次のようなもの（様式随意）
 - (a) 十分な貯金を示す本人口座の通帳の写し
 - (b) 毎月の仕送りを保証する経費負担者の証明書
 - (c) 奨学金受給証明書
7. 住民票の写し〔在留資格、在留期間の記載されたもの（発行申請時に申し出が必要）〕又は在留カードのコピー（両面）。

ただし、海外在住者においては、パスポートのコピー（顔写真のある頁）を提出し、入学手続時に必ず上記のいずれかを提出すること。

2 受入専攻及び募集人員

| 専攻 | 募集人員 |
|--------------|------|
| 有機・高分子化学 | 若干名 |
| 応用物質化学 | 若干名 |
| 生命分子工学 | 若干名 |
| 応用物理学 | 若干名 |
| 物質科学 | 若干名 |
| 材料デザイン工学 | 若干名 |
| 物質プロセス工学 | 若干名 |
| 化学システム工学 | 若干名 |
| 電気工学 | 若干名 |
| 電子工学 | 若干名 |
| 情報・通信工学 | 若干名 |
| 機械システム工学 | 若干名 |
| マイクロ・ナノ機械理工学 | 若干名 |
| 航空宇宙工学 | 若干名 |
| エネルギー理工学 | 若干名 |
| 総合エネルギー工学 | 若干名 |
| 土木工学 | 若干名 |

3 出願手続

郵送先・提出先：〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院工学研究科教務課入学試験係

出願期間：平成30年10月22日（月）～26日（金）

受付時間：9時～16時。ただし、12時～13時は除く。

郵送の場合は書留郵便とし、10月26日（金）16時必着のこと。

出願書類等（日本語又は英語で書くこと）

- (1) 入学志願票（本冊子とじ込みの用紙）（事前審査を受けた場合は提出不要）
- (2) 受験票及び写真票
- (3) 写真（6×4cm）1枚（3か月以内に撮影したものを(2)の写真票の所定欄にのりつけのこと）
- (4) 出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書（本学工学部在籍者及び卒業者は提出不要）
- (5) 出身大学の学業成績証明書（事前審査を受けた場合、本学工学部在籍者及び卒業者は提出不要）
- (6) 住民票の写し〔在留資格、在留期間の記載されたもの（発行申請時に申し出が必要）〕又は在留カードのコピー（両面）。ただし、事前審査を受けた場合は提出不要。
なお、海外在住者においては、パスポートのコピー（顔写真のある頁）を提出し、入学手続時に必ず上記のいずれかを提出すること。
- (7) 他大学において現在国費留学生である者はその証明書（在学している大学発行のもの）
- (8) 返信用封筒3通（受験票送付用、可否通知用、入学手続通知用）に本人の宛名を記入し、受験票送付用には、82円切手を貼ること。ただし、願書持参者は可否通知用と入学手続通知用のみでよい。
- (9) とじ込みの入学検定料納付用領収証書及び同（控）に氏名を記入したもの（国費留学生は不要）
- (10) 入学検定料30,000円

持参の場合は現金にて、郵送の場合は郵便局で30,000円分の普通為替を購入し、一切の記入はせず同封すること（現金を同封しないこと）。ただし、国費外国人留学生は検定料不要。

注：願書の受付後、本研究科においてその他の書類の必要が生じた場合には、後日提出させることがある。

4 選 抜 方 法

学力検査（筆記試験及び口頭試問）

日時：平成30年11月14日(水)から同年11月16日(金)までの期間に実施する。

9時から17時まで。

- (1) 専門科目試験：志願者が、専攻しようとする学問分野において、博士前期課程の学習に必要な基礎ができているかどうかについて試験する。筆記試験の問題は、日本語と英文で書かれる。
- (2) 語学試験：英語
語学試験、口頭試問等において日本語能力についての検定を行うことがある。
試験科目、日程など詳しいことは各専攻から通知する。

5 合 格 者 発 表

平成30年12月20日(木)正午（本研究科教務課前掲示板に掲示するとともに合否結果を本人宛に郵送する）

6 入 学 手 続

入学手続に関する詳細については、平成31年3月上旬に郵送により通知する。

- (1) 手 続 日：平成31年3月下旬
- (2) 場 所：工学研究科教務課（IB 電子情報館西棟 2 階）

7 授 業 料 等 学 生 給 付 金

- (1) 入 学 料 282,000円（予定）
入学手続時に納付すること。
 - (2) 授 業 料 前期分 267,900円（予定）（年額535,800円（予定））
授業料は、前期及び後期の2期に分けて納入する。また、納付については、授業料口座振替（代行納付制度）により取り扱う。
- （注1）入学時又は在学中に入学料及び授業料の改定が行われた場合は、改定時から新しい金額が適用される。
（注2）国費外国人留学生は、入学料・授業料とも不要。

8 その他の注意事項

- (1) 障害がある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、平成30年10月9日(火)までに、下記(3)の照会先まで申し出ること。
なお、修学上特別な配慮を必要とする者も同様に申し出ること。
- (2) 出願手続後は、いかなる事情があっても書類の書き換え及び返却は認めない。また、入学検定料の払い戻しはしない。
- (3) 入学試験に関する照会先
名古屋大学大学院工学研究科教務課（IB 電子情報館西棟 2 階）
〒464-8603 名古屋市千種区不老町 TEL 〈052〉 789-3978・3974
FAX 〈052〉 789-3979
e-mail:eng-admission@adm.nagoya-u.ac.jp
- (4) 災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページにより周知するので、出願前や受験前は特に注意すること。

工学研究科ホームページ

URL <http://www.engg.nagoya-u.ac.jp>

携帯電話用 <http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/cellular/bb/>



（携帯用）

9 個人情報の取り扱い

住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項にのみ利用する。また取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には利用しない。

II 博士後期課程（博士課程）

1 出願資格

日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）であって、「留学」の在留資格を有し、かつ次の各号の一に該当する者。

ただし、入学手続時まで「留学」の在留資格を取得できる予定の者については、出願時にその資格を有しなくても出願できる。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、上記資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び合格する見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - 一 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び平成31年3月末日までに2年以上従事する見込みの者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - 二 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び平成31年3月末日までに2年以上従事する見込みの者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(注) 9頁の「出願資格(7)により出願する者について」を参照すること。

- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月末日までに24歳に達する者

※出願する前に必ず志望指導教員に連絡を取り、内諾を得ておくこと。

【出願資格認定のための事前審査】

受験希望者は、原則として全員出願資格認定のための事前審査を受けること。

ただし、以下①及び②の者は事前審査が免除される。なお、①及び②の者であっても、出願資格(7)または(8)により出願する出願者は、事前審査を受ける必要がある。

①本研究科に在学する者、又は本研究科で研究生として在籍する者。

②平成30年10月から本研究科の研究生として入学予定の者。

それ以外の者については、資格審査を行うので出願前に次のとおり必要書類を工学研究科教務課へ7月17日(火)必着で提出すること。事前審査の結果は、8月8日(水)に本人宛に通知する。

ただし、留学ビザを既に取得している者については、必要書類の提出を9月13日(木)必着とし、事前審査の結果は10月3日(水)に本人宛に郵送にて通知する。

必要書類

1. 入学志願票（本冊子とじ込み用紙）
2. 大学院の成績証明書（原本）
3. 志望理由書（入学して何をしたいのかを明記すること。なお、志望指導教員には事前に連絡をとっておくこと。）

4. 出身大学の学長，研究科長又はこれにかわる者の推薦書（様式随意）
5. 在職中の者は，所属長の推薦書（様式随意）
6. 日本語能力を証明するもの（日本語の担当教員もしくはこれに準ずる者の証明書）
ただし，日本の大学を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者についてはこれを免ずる。
7. 経費能力を確認できる次のようなもの（様式随意）
 - (a) 十分な貯金を示す本人口座の通帳の写し
 - (b) 毎月の仕送りを保証する経費負担者の証明書
 - (c) 奨学金受給証明書
8. 住民票の写し〔在留資格，在留期間の記載されたもの（発行申請時に申し出が必要）〕又は在留カードのコピー（両面）。
ただし，海外在住者においては，パスポートのコピー（顔写真のある頁）を提出し，入学手続き時に必ず上記のいずれかを提出すること。

2 受入専攻及び募集人員

| 専攻 | 募集人員 |
|--------------|------|
| 有機・高分子化学 | 若干名 |
| 応用物質化学 | 若干名 |
| 生命分子工学 | 若干名 |
| 応用物理 | 若干名 |
| 物質科学 | 若干名 |
| 材料デザイン工学 | 若干名 |
| 物質プロセス工学 | 若干名 |
| 化学システム工学 | 若干名 |
| 電気工学 | 若干名 |
| 電子工学 | 若干名 |
| 情報・通信工学 | 若干名 |
| 機械システム工学 | 若干名 |
| マイクロ・ナノ機械理工学 | 若干名 |
| 航空宇宙工学 | 若干名 |
| エネルギー理工学 | 若干名 |
| 総合エネルギー工学 | 若干名 |
| 土木工学 | 若干名 |

3 出願手続

郵送先・提出先：〒464-8603 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院工学研究科教務課入学試験係

出願期間：平成30年10月22日（月）～26日（金）

受付時間：9時～16時。ただし，12時～13時は除く。

郵送の場合は書留郵便とし，10月26日（金）16時必着のこと。

出願書類等（日本語又は英語で書くこと）

- (1) 入学志願票（本冊子とじ込みの用紙）（事前審査を受けた場合は提出不要）
- (2) 受験票及び写真票
- (3) 写真（6×4 cm）1枚（3か月以内に撮影したものを(2)の写真票の所定欄にのりづけのこと）
- (4) 修士の学位を授与された者（又は，見込）であることの証明書（本学工学研究科在籍者及び卒業者は提出不要）
- (5) 出身大学院の学業成績証明書（事前審査を受けた場合，本学工学研究科在籍者及び卒業者は提出不要）
- (6) 住民票の写し〔在留資格，在留期間の記載されたもの（発行申請時に申し出が必要）〕又は在留カードのコピー（両面）。ただし，事前審査を受けた場合は提出不要。

なお、海外在住者においては、パスポートのコピー（顔写真のある頁）を提出し、入学手続き時に必ず上記のいずれかを提出すること。

- (7) 他大学において現在国費留学生である者はその証明書（在学している大学発行のもの）
- (8) 修士論文の概要又は修士課程における研究経過の概要
- (9) 返信用封筒3通（受験票送付用、可否通知用、入学手続通知用）に本人の宛名を記入し、受験票送付用には、82円切手を貼ること。ただし、願書持参者は可否通知用と入学手続通知用のみでよい。
- (10) とじ込みの入学検定料納付領収証及び同（控）に氏名を記入したもの（国費留学生は不要）
- (11) 入学検定料30,000円

持参の場合は現金にて、郵送の場合は郵便局で30,000円分の普通為替を購入し、一切の記入はせず同封すること（現金を同封しないこと）。ただし、国費外国人留学生及び本学大学院研究科博士前期課程（修士課程）を修了し、引き続き本課程に進学する者は検定料不要。

注1：願書の受付後、本研究科においてその他の書類の必要が生じた場合には、後日提出させることがある。

注2：出願資格(7)により出願する者は、上記「3 出願手続」の項にかかわらず、9頁の「出願資格(7)により出願する者について」の3) 出願書類の項によること。

4 選 抜 方 法

学力検査（筆記試験・口頭試問またはいずれか一方により行う）

日時：平成30年11月14日(水)から同年11月16日(金)の期間に実施する。

9時から17時まで。

- (1) 専門科目試験：志願者が、専攻しようとする学問分野において、博士学位を目指す研究を行いうる能力を有するか否かについて試験する。筆記試験の問題は、原則として英文で書かれる。
- (2) 語学試験：英語
語学試験、口頭試問等において日本語能力についての検定を行うことがある。
試験科目、日程など詳しいことは各専攻から通知する。

5 合 格 者 発 表

平成30年12月20日(木)正午（本研究科教務課前掲示板に掲示するとともに合否結果を本人宛に郵送する）

6 入 学 手 続

入学手続に関する詳細については、平成31年3月上旬に郵送により通知する。

- (1) 手 続 日：平成31年3月下旬
- (2) 場 所：工学研究科教務課（IB 電子情報館西棟 2 階）

7 授 業 料 等 学 生 納 付 金

- (1) 入 学 料 282,000円（予定）
入学手続き時に納付すること。
ただし、本学大学院博士前期課程（修士課程）を修了し、引き続き本課程に進学する者は、入学科を要しない。
 - (2) 授 業 料 前期分 267,900円（予定）（年額535,800円（予定））
授業料は、前期及び後期の2期に分けて納入する。また、納付については、授業料口座振替（代行納付制度）により取り扱う。
- (注1) 入学時又は在学中に入学科・授業料の改定が行われた場合は、改定時から新しい金額が適用される。
(注2) 国費外国人留学生は、入学科・授業料とも不要。

8 その他注意事項

(1) 障害がある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、平成30年10月9日(火)までに、下記(3)の照会先まで申し出ること。

なお、修学上特別な配慮を必要とする者も同様に申し出ること。

(2) 出願手続後は、いかなる事情があっても書類の書き換え及び返却は認めない。また、入学検定料の払い戻しはしない。

(3) 入学試験に関する照会先

名古屋大学大学院工学研究科教務課 (IB 電子情報館西棟 2 階)

〒464-8603 名古屋市千種区不老町 TEL (052) 789-3978・3974

FAX (052) 789-3979

e-mail:eng-admission@adm.nagoya-u.ac.jp

(4) 災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページにより周知するので、出願前や受験前は特に注意すること。

工学研究科ホームページ

URL <http://www.engg.nagoya-u.ac.jp>

携帯電話用 <http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/cellular/bb/>



(携帯用)

9 個人情報の取り扱い

住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項にのみ利用する。また取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には利用しない。

出願資格(7)により出願する者について

「文部科学大臣の指定した者」

1) 出願資格(7)により出願する者は、次の①または②の要件を満たす者であること。

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び平成31年3月末までに2年以上従事する見込みの者で、学術論文、著書、研究発表、特許等により、修士学位論文と同等以上の価値がある認められる研究業績を有する者。
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び平成31年3月末までに2年以上従事する見込みの者で、学術論文、著書、研究発表、特許等により、修士学位論文と同等以上の価値がある認められる研究業績を有する者。

2) 事前照会（審査）

出願資格(7)により出願する者については、あらかじめ次の書類を平成30年9月26日(水) [必着] までに、工学研究科教務課〔3 出願手続の項を参照〕へ提出又は郵送（書留郵便で封筒の表に「博士後期課程事前審査申請」と朱書）し、出願資格の有無について事前照会すること。

本研究科で事前審査を実施し、その結果は平成30年10月9日(火)に本人宛通知する。

提出書類（日本語又は英語で書くこと）

- ① 出願資格(7)による出願資格事前審査願（本冊子とじ込みの用紙に、本人が記載・署名）
- ② 大学卒業証明書
- ③ 研究歴証明書（本冊子とじ込みの用紙に、所属の長等が証明したもの）
- ④ 推薦書（本冊子とじ込みの用紙に、所属の長等が証明したもの）
- ⑤ 研究実績調書（本冊子とじ込みの用紙に、本人が記載）
- ⑥ 研究成果報告書（本冊子とじ込みの用紙に、日本語の場合は4,000字程度で、英語の場合は1,500語程度で本人が作成、論文形式とする）
- ⑦ 学術論文、著書、研究発表、特許等の写しの添付

3) 出願書類

上記事前審査の結果、出願資格有と判定された者の出願書類は、6頁3を参照すること。なお(4)、(5)及び(8)は除く。